

007 yuko

作品名	著者	感想
室の梅	宇江佐真理	おろく医者（法医学者）の美馬正哲と女房のお杏（産婆さん）が解決する事件帖。 宇江佐さんにはまっている。
桜花を見た	宇江佐真理	あの北町奉行遠山金四郎を父だと母から聞かされた、「いせ辰」手代、英助。歴史上の実在の人物を題材に、江戸時代ならではの人情あふれる小説集。
深尾くれない	宇江佐真理	生真面目な性格から、自分を裏切った妻を二人も斬り捨てた深尾角馬。狂気の中で唯一愛していたのは深尾くれないと呼ばれる、牡丹の花。宇江佐さんのものの中では少し後味が良くない気がした。
銀の雨	宇江佐真理	北町奉行所の同心、為後勘八郎を中心に人間模様を描いた、人情捕り物帖。この人の人情ものは逸品だと思う。
春風ぞ吹く	宇江佐真理	代書屋のアルバイトをしている浪人の五郎太の周りで起こる様々な人間模様。ほのぼのとした結末に心がほんわり。こういうものが書きたいと思う。
玄治店の女	宇江佐真理	江戸時代を生きる、女性達を主人公に、その恋模様を描く。 背景も勉強になるし、面白い。
さんだらぼっち	宇江佐真理	髪結い伊三次とその女房元辰巳芸者のお文の周りで起こる、事件。 人情捕り物帖。 どのシリーズも面白い。江戸っ子の生活も楽しめる。
元禄歳時記	杉本苑子	杉本さんも時代物にはなくてはならない人だが、宇江佐さんと比べると少し硬い感じはする。 主人公の新井勘解由が魅力的。 若き日の六代将軍家宣が、絡んで 実在の人物も描かれている為、面白く読めた。

004 TICA

今回読んだ本と漫画は、鹿が話すのから始まって、天狗やストーカーや妖怪が多数登場。そのせいか、挫折したのが多かった。もっと大事に本を読みたいんだけど、合わないんだものもの……。

題名	作者	コメント	評価
鹿男あをによし	万城目学	テレビドラマを先に見てから本を読んだ。キャラクター設定以外は殆ど同じだった。本の藤原くんはテレビでは藤原さん（綾瀬はるか）で、キャラがとっても可愛く楽しめた。佐々木蔵之介の役もテレビの方が可愛かった。 単純だから、先に読むまたは見る方が面白いと思うのかな。	☆☆☆☆★
有頂天家族	森見登美彦	足元でちょろちょろしてる狸が主役で、天狗が京都の空を飛びまわるが、ファンタジーといった類の話じゃない。天狗にさらわれて、天狗より強い力を持つようになった人間、蛙になった狸…。やっやこしや～	☆☆
太陽の塔	〃	最初だけ読んですぐに挫折。だめだ、だめだ～。	—
漱石先生の事件簿	柳 広司	けして読みにくい話じゃない。じゃないのに読めない。	—
夜市	恒川光太郎	日本ホラー大賞受賞作品。欲しいものと大事なものを交換しなくちゃいけない夜市。 最近はすぐに映画化になるか考えてしまう。その点でこれはオムニバスっぽいのでなりそう。	☆☆☆
秋の牢獄	恒川光太郎	変わった話に慣れてきたので読める。別の違う本を読んでもいいかと思っていた、最後の章までは。この本を貸してくれた Cacco さん、注意してほしいかった。フジツボを頬に埋め込んでしまうという表現がもう全然だめ。気持ちが悪すぎて許せない。読んで大失敗だった本、一位！	×
ひとつ灯せ 大江戸怪奇譚	宇江佐真里	商家の主人や学者、医者、同心、一中節の女師匠たちが、定期的に催している作り話でない怖い話を持ち寄る集まりの会のお話。 最後の章を読んでいなかったのに、珍しく妙に気の利いた麻生に図書館に返されてしまった。読んだところまでは、人情話でもなければ、思い切ってオバケものというものでもなく何かしら中途半端なまま。最後になにかがあったらしいのにひどく残念！	—

<p>相棒—劇場版— 絶体絶命！ 42.195km</p>		<p>『クライマーズハイ』の映画宣伝のとき、主演の堤真一に『相棒』までのヒットは望みませんが」と言わしめた映画のノベライズ。とはいえ結末は映画と本とは違うらしい。じゃあなんのための本？</p>	☆☆☆★
<p>鑑識・ 米沢の事件簿～ 幻の女房</p>	<p>ハセベ バクシンオ ー</p>	<p>鑑識の米沢を主人公にした『相棒劇場版』のスピ ンオフ小説。ちらっちらっと出てくる『相棒』コ ンピの影がなんとなくいい。 『相棒』キャラの人気投票だと高い位置に来る米 沢さんもやっぱり主役にはなれない。いくらマラ ソンの後始末に忙しくても、すぐに右京さんに相 談すればいいのにつて思っちゃうし、オタクの米 沢さんが小説では正義感溢れ堂々としすぎている のもつまらない。</p>	☆☆
<p>駅神</p>	<p>図子 慧</p>	<p>易断ミステリドラマっていったいなんだ！？ 駅に出没するおじいさんの占いが当たるといっ て悩みを抱えて人たちが沿線に集まり始める。 駅と易をかけているのかな。易のお勉強するには いいかも。</p>	☆
<p>沈底魚</p>	<p>曾根圭介</p>	<p>乱歩賞作品。沈底魚とは、対象国のエリートを取 り込んで長期間は何もさせずに出世させ、時が来 たら国を裏切らせる長期潜伏スパイのこと。現実 離れしているようなスパイとか亡命とかの言葉 もきっと現実の話なんですよ。 私が読めるハードボイルドな話は藤原伊織まで です。</p>	☆
<p>悪果</p>	<p>黒川博行</p>	<p>ヤクザと癒着してたり、横領やユスリに関与して いたり、それを隠す仕事が監察の主な仕事だっ たり、この小説が警察内部をリアルに描いたもの だとしたら警察に正義なんてないも同然。『沈底魚』 にしる、こんなことまで書いてしまっているの？ という話を読むと、やっぱり警察官になる人は、 出世より正義の人であってほしいと望みたくな る。 ついでに言えば、政治家のお給料を10分の1く らいに下げて、それでも国をよくしたいと思う人</p>	☆☆☆

		<p>が政治家になればいいのにと小学生のように単純に思う。</p> <p>刑事が主役のハードボイルドを続けて2冊読むと『相棒』が懐かしくなってくる。</p>	
ビター・ブラッド	雫井脩介	<p>『クローズド・ノート』の失敗を取り返した。魅力的な刑事が出てこない『沈底魚』『悪果』みたいなハードボイルドより、人間的でちょっと嘘くさくてもほっとするところがあるもののほうが私には合っている。</p> <p>疎遠になっている父と息子が同じ警察で事件を追う。『犯人に告ぐ』の徹底的にかっこいい刑事は登場せず「マカロニ」「ジーパン」系の渾名を持つ刑事たち。「ジェントル」の渾名を持つ父親の妙なジャケットプレイや、いざって時にドジを踏むおふざけが中途半端で馴染めないかなと思って読んでいたら、すっかり馴染んで最後は笑ってしまった。この人の本は殆ど読んできたけど、こういう人物設定にして笑いを鑿めているのは初めて。犯人を推理する魅力より、人間の面白さや悲しさがいい。情報屋の相星の魅力も大きい。すぐにでも映画化の声がかかりそう。息子役には一押しの若手、田中圭。父親は役所広司あたりかな。相星は、『ザ・ゾンビーズ』のアギーが年をとったっていうのがイメージだけど、アギーも金城一紀が書く登場人物だもんね、だめちゃん。それにしても山崎努、緒形拳と役所広司の間の世代がないなあ。根津甚八がいなくなっちゃったからねえ。</p>	☆☆☆☆★
メタボラ	桐野夏生	<p>メタボの話かと思って読む人は私だけじゃないでしょう。暗い森の中で何かに追いかけて逃げている男の話から始まり、集団自殺、家庭崩壊、派遣労働、ホモセクシュアルと話題が満載。『グロテスク』を読んだときにもうこの人の本は止めようと思ったのに読んでしまった私が悪い。でも『東京島』が目の前にあったらまただまされてしまいそう。。</p>	☆☆

文体練習	レーモン・クノー 訳・朝比奈弘治	<p>どこかで賢太郎が薦めていたので図書館で予約して読んだ。始めに日常の出来事がメモとしてあって、その話を99通りの文体で書いている。</p> <p>同じ話を読んでそれぞれが感想文を書くのとは違い、簡単な状況説明が書かれたメモを基本に99通りの書き方で書くんだから、どれほどの語彙が必要か。</p> <p>4分の1を占める解説が、フランス語の言葉遊びを日本語に置き換える難解さを表している。いかにもラテン語らしく書かれたフランス語を日本向きに漢文に直したり、女子高生言葉や古典を代替品にしているが、やはり面白さは伝わりにくい。</p> <p>使う頻度の高い「e」を使わないで書く文章（リプログラム）も、日本語で「えけせてね」を抜かしてもさほど苦労もなく書ける分、違いもわかりにくいらしい。</p> <p>そんな解説が最後にででーんとあるわけだが、一話ごとにつけてほしかったなあ。</p> <p>書かれたものと言われたものの違いについて書かれた章では、話し言葉で文章を書いたり、メールから伝わった情報なども「きいた」と書いてしまう私にはとても痛い内容だった。</p> <p>読み進めて行くと、ラーメンズの『ことわざ仙人』や<TEXT>の言葉を変えていくコントなどが思いだされ、賢太郎の足跡を追いかけている実感があつた。</p> <p>読んだあとに、この本を松潤が「ダ・ヴィンチ」で紹介していたことを知った。図書館で予約待ちだったのは賢太郎の影響だと思ってたけど、松潤のほう？いや、まさか・・・</p>	☆☆☆☆☆
悪夢のエレベーター	木下半太	<p>片桐仁主演のお芝居の原作。止まってしまったエレベーターに乗りあつた4人。密室で交わされる会話はテンポがよくてすぐに入り込めたが、段々むちゃくちゃな話になり、じゃんじゃん人が殺されちゃう。それどころか、本の後ろにブログの入</p>	☆

		<p>会の勧めがあって、そこにこの本の続きが書かれている。それはもっとむちゃくちゃ。同じ殺し合いでも『バトルロワイヤル』の面白さはない。</p> <p>舞台では、大好きな吹越満も出るのでかなり真剣に行こうか悩んだが、これを読んできっぱりと行くのを止めた。</p> <p>それにしてもだ、仁さん、舞台上働いてばかりいないでラーメンズで動いてほしい。</p>	
--	--	---	--

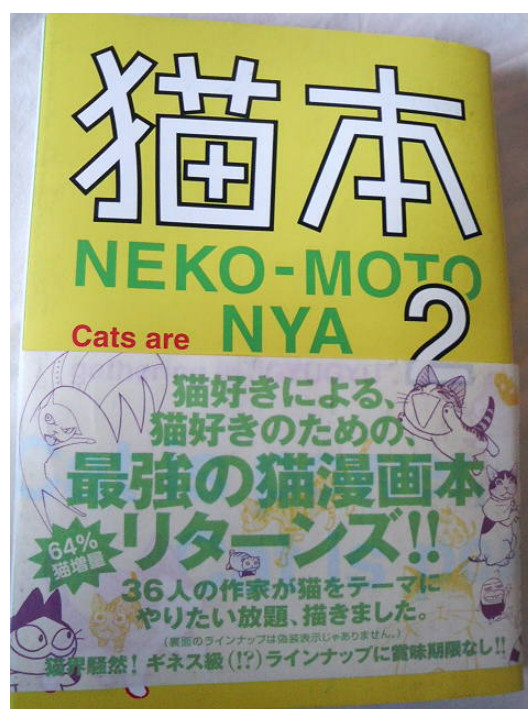
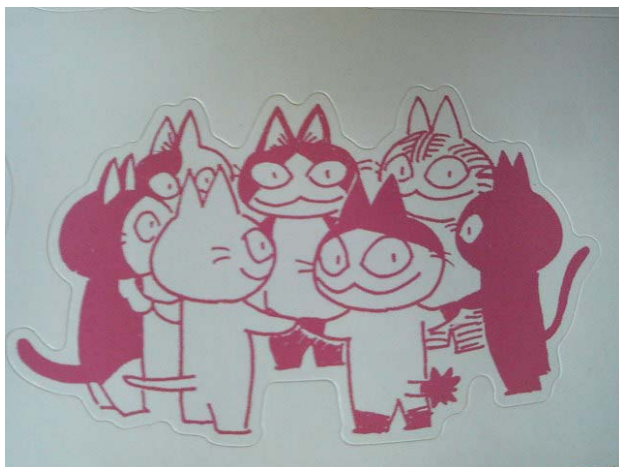
<漫画>

猫本2 (NEKO-MOTO NYA)

犬好きなのに買いました。賢太郎が描いているので、買いました。たった5頁のために買いました。

でも、大好きな漫画家の萩尾望都さんや懐かしの諸星大二郎さんも載っていたし「チーズスイートホーム」も以前に連載を読んでいて好きだったし、そんな高い買い物じゃなかったかなって感触。

といっても、税別667円の本だけど。



一番のお気に入りは、ニニコシール。

可愛いなあ。。

これをすぐに使える人は鬼だなあ。。

名前が出世魚のように変わるっていう

賢太郎の飼い猫ちゃん2匹。さぞかし迷惑なことでしょう。とブログに書いたら、ラーメンズファンから「あれは賢太郎さん流の嘘でしょう」って。な～るほどにい。ラーファンって深い。ってか私は浅い。

最近、麻生がカテキョのバイトを始めた。バイト先のママさんがお土産に手作りのスイーツと漫画を持たせてくれる。ふたつの意味でとてもおいしいバイトです。

○秘密 清水玲子 白泉社

死後 10 時間以内の死体から取り出した脳に電気刺激を与え、通常では 5~10%しか働いていない脳を 120%まで働かせ、死者が生前に見ていた映像を MRI スキャナーで再現する。そうすると殺される直前の映像が出てきてしまい、それを見た捜査官は変になってしまう人が続出。「MRI 捜査」という架空の科学捜査、グロすぎで 2 冊で挫折。

○大奥 よしながふみ

男と女が逆転した大奥。一話だけ読んだら面白かったけど、先に読破した麻生が「病気になるときの顔が気持ち悪いから読まないほうがいい」と言葉が渦巻いて挫折。

○夏目友人帳 緑川ゆき 白泉社

漫画の趣味は合わないねー、私は切な系が好きだと言ったら、これは切ないと貸してくれた。でもやっぱり妖怪もの。がみちゃんの妹さんはほんとに楽しい人だ。深夜にアニメが始まり、漫画よりも絵が綺麗でうまかった。

○聖☆おにいさん 中村光

ブッダとイエスが立川の狭いアパートに同居してるコメディ漫画。ラゾーナの丸善にこの人のサイン色紙が飾ってあった。メジャーなのか？最近絵の上手下手はあまり関係ないみたいね。

○

潔く柔く いくえみ綾

7 巻を一気に読んだ。高校生の恋にまつわる日常。数話完結で主役が移っていくが、登場人物がリンクしていく話の作り方は好み。すぐに関係を持ちちゃうのにはちょっと驚いたが、一生懸命考えて生きている高校生はとてもいい。自分の子供の年齢よりもまだ年下の話なのに、面白いと感情移入が簡単に出来る。

大好きな『永遠の野原』でも後半は主人公たちが高校を卒業してしまってあまり面白くなくなるが、この本も最後は大学生が主人公となり、急にオトナになってしまったようで淋しくなる。自分は団体生活が嫌いだったくせに、子供っぽさを残す高校生の乱雑な生活がどうも好きみたい。